

## 専攻科教育

JABEEの認定基準に準拠した複合型生産システム工学に関連する分野で技術革新を担うことができる高度で幅広い専門知識を習得させるとともに、研究開発能力、課題探求・問題解決能力、技術者倫理を含む総合的判断力、英語によるコミュニケーション能力の育成を図り、技術開発の場で新たな価値を創造する力を育てます。また、各専攻所定の単位を取得し、大学評価・学位授与機構の審査に合格すると、修了時に大学卒業と同等の学位（学士）が授与されます。

## 電子機械工学専攻

機械工学、電気電子工学、電子情報工学等の学科出身者を対象として、機械・生産システム、メカトロニクス、計測制御技術、エレクトロニクスおよび情報技術などの分野で技術革新を担うことができる高度な専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。

## 応用物質工学専攻

生物応用化学、材料工学等の学科出身者を対象として、ファインケミストリー、バイオテクノロジー、材料プロセッシング、環境保全・リサイクル技術および機能性新素材などの分野で技術革新を担うことができる高度な専門知識を習得させるとともに、研究開発能力を養います。



## 世界水準を保証する 技術者教育プログラムの推進

「複合型生産システム工学」教育プログラムは、学科4・5年及び専攻科1・2年の4年間で学習する工学（融合複合・新領域）関連分野の技術者教育プログラムです。高専教育の特徴である早期7年一貫教育により、主となる専門分野（機械、電気・電子・情報、化学・生物、材料）の知識に加えて、中京地区の伝統的特徴である素材から工業製品に至る「ものづくり」に必要な生産システムに関する工学基礎知識、豊富な実験技術および新たな価値を創り出すことができる力を身に付けた国際的に活躍できる実践的技術者の育成を目指します。

このプログラムは、平成16年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から正式認定を受け、技術社会が求める水準と質を十分満たしているとの評価を受けました。

## 学科教育

5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための理論と専門知識、並びに豊富な実験技術を習得させるとともに、応用・展開力と創造性を養います。



## 各学科の特徴

### 機械工学科

機械工学に関する基礎理論と専門知識（材料と構造、運動と振動、エネルギーと流れ、情報と計測・制御、設計と生産）に加え、メカトロニクス・ロボット工学などコンピュータ応用技術に関する幅広い知識、さらにCAD/CAMを用いた最先端の設計技術・加工技術も習得します。

### 電気電子工学科

電力・鉄道などのインフラからスマートフォンやデジタル家電など様々な電気電子製品の設計・生産をはじめ、機械・化学・食品・IT産業などの分野で活躍できる技術者を目指し、電気電子技術・情報通信技術を学びます。また、本学科は第2種電気主任技術者の認定対象学科です。

### 電子情報工学科

電子情報工学に関する理論と知識（電気磁気学、電気回路論、電子回路、計算機アーキテクチャ、プログラム設計、オペレーティングシステム、ソフトウェア工学、情報通信ネットワーク、人工知能など）及びハードウェアとソフトウェアの融合化技術に関する知識を学びます。

### 生物応用化学科

工業化学を学ぶ「応用化学コース」とバイオテクノロジーを学ぶ「生物化学コース」があります。両コース共にファインケミカルズ、合成繊維、医薬、化粧品、環境保全技術などに関する知識や技術を習得するほか、最新の化学理論と生物工学をそれぞれ学びます。

### 材料工学科

材料の物理と化学、材料の構造・物性・機能、製造プロセス、材料設計等の材料工学の基礎的な理論と知識・技術を学び、材料の製造、研究・開発に柔軟かつ適切に対応できる実践的能力を養います。生活や産業の発展を材料の視点から支え、グローバル社会で活躍する技術者を目指します。

高き野 西方

聳えて 山あり

聳えて 山あり

その山の 名をいただきて

その山の 名を誇りとす

～鈴鹿工業高等専門学校 校歌より～

## 鈴鹿高専ポケットガイド 平成25年度版

発行 平成25年7月  
独立行政法人国立高等専門学校機構  
鈴鹿工業高等専門学校  
〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町  
TEL：059-386-1031（代表）  
FAX：059-387-0338  
<http://www.suzuka-ct.ac.jp/>



総務課総務係 TEL：059-368-1711  
総務課経理係 TEL：059-368-1721  
学生課教務係 TEL：059-368-1731  
学生課就職担当 TEL：059-368-1732  
学生課入試係 TEL：059-368-1739  
図書館 TEL：059-368-1733

日本技術者教育認定機構（JABEE）認定校  
大学評価・学位授与機構高等専門学校評価基準認定校



# 鈴鹿工業高等専門学校



# SUZUKA NATIONAL COLLEGE of TECHNOLOGY

## SNCT GUIDE 2013(H25)

## 基本理念

### 教育理念

- (1) 広い視野から価値判断ができ、技術者精神を備えた豊かな人間性を涵養します。
- (2) 科学技術に関する高い専門知識と技術に基づく深い洞察力と実践力を育成します。
- (3) 未知の問題に果敢に挑み、新たな価値を創造する力を育てます。
- (4) 心身を鍛え、己を確立し、自ら未来を切り拓く力を育てます。

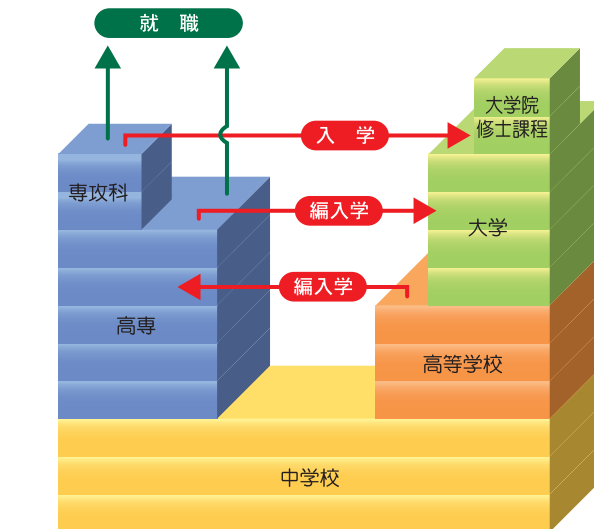
### 養成すべき人材像

- (1) 生涯にわたり継続的に学修し、広い視野と豊かな人間性をもった人材を養成します。
- (2) 高い専門知識と技術を有し、深い洞察力と実践力を備えた人材を養成します。
- (3) 課題探求能力と問題解決能力を身につけた創造性豊かな人材を養成します。
- (4) コミュニケーション能力に優れ、国際性を備えた人材を養成します。

## 求める入学志願者像

- ・自然科学に興味をもち、将来の科学技術の発展に夢を抱く人
- ・自らの向上をめざして継続的に自己学習ができる人
- ・何事にも積極的に挑戦する意思と意欲のある人

## 高専制度



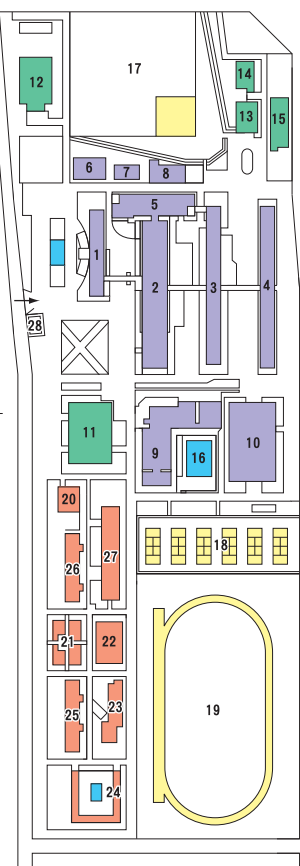
## アクセス

近鉄名古屋線白子駅下車。白子駅西口から三重交通バス平田町行き・鈴鹿サーキット行きに乗車約10分。東旭が丘3丁目下車。バス停から徒歩10分。



## 校内地図

- 1 管理棟（総務課・教育研究支援センター・教養教育科）
- 2 生物応用化学科・教室
- 3 電気電子工学科・材料工学科
- 4 機械工学科・教室
- 5 電子情報工学科・教室
- 6 専攻科
- 7 材料分析室
- 8 共同研究推進センター
- 9 マルチメディア棟（学生課・図書館・情報処理センター）
- 10 クリエーションセンター
- 11 第1体育館
- 12 第2体育館
- 13 剣道場（修道館）
- 14 柔道場（弘道館）
- 15 弓道場（志誠館）
- 16 プール
- 17 野球場
- 18 テニスコート
- 19 陸上競技場
- 20 青峰会館
- 21 寮管理部
- 22 寮食堂
- 23 青峰寮A
- 24 第1青峰寮
- 25 第2青峰寮
- 26 学生支援センター（仮）
- 27 第4青峰寮
- 28 守衛室





## 教育活動等

### 国際交流

学術交流協定を締結しているオハイオ州立大学（アメリカ）、ジョージアンカレッジ（カナダ）及び常州信息職業技術学院（中国）と交流を深めています。平成24年度は、オハイオ州立大学への学生派遣、ジョージアンカレッ

### 学生の活躍（平成24年度）

- ・日本陸上競技選手権大会（走り高跳び） 準優勝
- ・全国高等専門学校体育大会（優勝）
  - 陸上・テニス・バスケット・水泳
- ・高等専門学校女子剣道大会 11連覇
- ・全国高等学校総合体育大会出場（陸上・空手）
- ・全国高等学校スキー大会出場
- ・高専ロボコン2012 東海北陸地区大会 優勝・ベストベツト賞・特別賞 全国大会 ベスト4・特別賞
- ・高専プロコン 敢闘賞
- ・学生プログラマ日本一決定戦 CODE VS 2.0 5位
- ・Econo Power in Gifu 電気自動車競技 2位
- ・ソーラーカーレース鈴鹿 OLYMPIA クラス 9位
- ・ニッケピュアハートエッセー大賞 佳作
- ・各種学会で受賞多数

### 学生数（平成25年4月1日現在）

学 科	定員	1年	2年	3年	4年	5年	計
機械工学科							
電気電子工学科							
電子情報工学科							
生物応用化学科							
材料工学科							
合 計							

専攻科	定員	1年	2年	計
電子機械工学専攻				
応用物質工学専攻				
合 計				

### 卒業後の主な進路（過去5年間）

- 進学先  
学科  
鈴鹿高専専攻科、北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、長岡技術科学大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学、名古屋大学、三重大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、九州大学、立命館大学 他
- 専攻科  
筑波大学大学院、東京工業大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、名古屋大学大学院、三重大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学大学院、早稲田大学大学院 他
- 就職先  
学科  
アイシン精機(株)、

## 沿 革

昭和37年4月1日 鈴鹿工業高等専門学校の設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科の3学科で発足）

昭和41年4月1日 金属工学科を設置

昭和61年4月1日 金属工学科を材料工学科に改組

平成元年4月1日 電子情報工学科を設置

平成2年6月5日 アメリカ・オハイオ州立大学工学部と学術交流協定を締結

平成3年10月9日 カナダ・ジョージアンカレッジと学術文化交流協定を締結

平成5年4月1日 専攻科（電子機械工学専攻、応用物質工学専攻）を設置

平成9年4月1日 工業化学科を生物応用化学科に改組、生物化学及び応用化学の2コース制を開設

平成14年4月1日 共同研究推進センター発足

平成15年4月1日 電気工学科を電気電子工学科に名称変更

平成16年4月1日 国（文部科学省）から独立行政法人国立高等専門学校機構へ移管

平成16年5月10日 技術者教育プログラム「複合型生産システム工学」がJABEEから認定

平成18年3月20日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認証

平成18年4月18日 中国・常州信息職業技術学院と学術文化交流協定を締結

平成19年4月1日 一般科目を「教養教育科」に名称変更

平成21年1月22日 百五銀行と産学連携包括協定を締結

平成23年7月1日 豊橋技術科学大学、岐阜工業高等専門学校、沼津工業高等専門学校、豊田工業高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校と教育研究交流に関する協定を締結

平成24年11月26日 大阪大学工学部・大学院工学研究科と教育研究交流に関する協定、実習生派遣に関する覚書を締結

平成25年3月27日 高等専門学校評価基準を大学評価・学位授与機構から認証

## 施設紹介

### 学生寮

校内に4棟からなる学生寮があり、430名の学生を収容することができます。各居室には有線LANが整備され、寮生は恵まれた

## 目 標

- 1 教育に関する目標**  
【学科教育】  
5年一貫の教養教育及び実践的工学教育により、創造性豊かな実践的技術者として将来活躍するための基礎的な知識と技術及び生涯にわたり学習する力を育てます。  
【専攻科教育】  
より高度で幅広い専門知識や創造力、判断力を身に付け、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者を育てます。
- 2 研究に関する目標**  
教育内容を学術の進展に即応させるため、継続して研究を行います。そのために必要な学術的研究のみならず先進的な研究、学科間を越えた複合・融合領域研究、産学官連携による共同研究・受託研究も推進します。これらの研究成果を発表や知的財産化等で広く社会に提供し、人材育成および地域・産業界に貢献します。
- 3 社会との連携や国際交流に関する目標**  
地域交流・地域連携・産学官連携等を通じて本校の教育研究の成果を社会に還元し、その連携協力を努めます。また、地域の生涯学習機関としての役割を果たします。  
さらには、外国の高等教育機関との協定に基づく学生の国際交流を継続発展させ、国際的な視野と知見を備えた技術者の育成を図るとともに、留学生の受入れを積極的に行います。
- 4 管理運営に関する目標**  
校長のリーダーシップの下に、運営会議を中心とした施策立案、審議執行及び評価監査のサイクルを確立するとともに、迅速かつ効率的な運営を図るため、運営会議及び各種委員会の位置付け、機能及び審議・協議事項の明確化を図ります。  
また、本校における教育研究等の活動全般について自己点検・評価を行うとともに、広く外部からの意見を取り入れ、開かれた学校運営を行います。  
さらには、限られた各種資源を戦略的に配分するため、本校の運営方針に基づき、重点的に資源配分する仕組みを整備するとともに、事務組織の機能、編成等を見直し、事務処理の効率化・簡素化並びに事務職員及び技術職員の資質の向上に努めます。

## 地域貢献・地域開放事業

- 女子中高生の理系進路選択支援事業
  - ・続け、理系の卵たち！ 届け、貴女の未来予想図！ 2013

- 主に小・中学生向けの公開講座
  - ・機械工学のひとこま
  - ・光で発電、一から作る太陽電池
  - ・電気の実験教室
  - ・身のまわりのおもしろ化学実験
  - ・ウインドカーを作ろう
  - ・情報オリンピックに参加してみよう！
  - ・マイコン電子制御 ーアルドウィーノ de テクノ工作ー
  - ・材料科学の夏の祭典2013 ー体験・一日材料分析リサーチャーー

- 小・中学校への出前授業  
鈴鹿市等の教育委員会と連携して実施しています。授業を受けた参加者からは理科が好きになったなどの声が多く聞かれます。

- 技術相談  
地域貢献の一環で技術相談を実施しています。技術相談から共同研究を実施したケースもありますので、お気軽にご連絡ください。  
<連絡先>総務課地域連携係 Tel：059-368-1717

## 研究活動

### 収入・支出（平成24年度）

### 教職員数（平成25年4月1日現在）

校長	教授	准教授	講師	助教	事務職員	技術職員	再雇用	計
1	30	34	8	9	25	16	6	129